

令和8年度 第2学年 数学科 年間指導計画 予定年間授業時数： 105 時間

使用教科書：東京書籍「新編 新しい数学 2」

使用副教材：新学社 「数学の問題ノート2」 五ツ木書房「スピード80」

教科の学習目標：

- ① 基礎的・基本的な知識や技能を活かし新たな知識から数学的な思考力・判断力を育てる。
- ② 言葉や式、図、グラフなどを適切に用いて自分の考え方をわかりやすく説明し、表現する力を育てる。
- ③ 数学のよさを知り、数学が生活に役立つことや科学技術との関係などの理解を深め、自分の生活に活かしていくことを考えるようにする。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	1章 式の計算 2章 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の元となる正負の数や、文字の使い方を確認する</li> <li>・より高度な文字の処理を行う。</li> <li>・文字を使った説明の有効性を考える。</li> <li>・複数の文字を用いた方程式を連立方程式を解くことで解を求める</li> <li>・文章から連立方程式を組み立て、処理する。</li> </ul>
2	3章 1次関数 4章 平行と合同 5章 三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例の考えを1次関数に広げ傾き、切片、変化の割合の意味をしる。また式の読み取り、連立方程式との繋がりまで考察する。</li> <li>・図形の計量の次の学習として図形の性質について考える。平行や三角形の性質を理解する。</li> <li>・事象の説明について考え、合同の証明の説明をできるようにする。</li> <li>・合同の考えを利用し、三角形と四角形に考えを広げていく。</li> </ul>
3	5章 三角形と四角形 6章 確率 7章 データの比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形、長方形など四角形の性質について考える。証明を用いて性質を解き明かしていく。</li> <li>・不確定なコインの裏表、サイコロの目など事象について確率として表していく。また樹形図などを用いての整理をしていく。</li> <li>・箱ひげ図を用いて複数のデータを比較する。</li> </ul>

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	前学年で学習した内容を活かし、文字の使用、連立方程式、1次関数の計算処理が正しく行うことができる。また図形の計量が可能なことから改めて図形の性質を理解することができる。 資料の分析と活用からさらに複数のデータの比較や不確定な事象を確率として処理できる。	定期テスト 休み明けテスト
観点2（33%） 思考・判断・表現	知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見出したり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察したりすることで、表現することができる。また、学習した単元を活用して、具体的な事象について考察し、表現することができる。	定期テスト 休み明けテスト
観点3（34%） 主体的に学習に取り組む態度	様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見出したりするなど、数学的に考え表現することに興味を持ち、生活や学習に活用しようとしていたり、問題解決の過程を振り返ったりしようとする。	授業中の様子 提出物 定期テスト 休み明けテスト